

海技協会報2021.7
VOL.

140

マリーン・ プロフェッショナル

Japan Marine Construction
Engineering Association



CONTENTS

VOL. 140

海技協会報

ページ
01 巻頭言

稚内港の変遷

一般社団法人日本海上起重技術協会 副会長 北海道支部長
藤建設株式会社 代表取締役会長 藤田 幸洋

04 協会活動

- ・ 第35回通常総会及び第94回理事会報告
- ・ 登録海上起重基幹技能者講習及び海上起重作業管理技士講習・試験における新型コロナウイルス感染予防対策について
- ・ 建設技能者の能力評価制度：海技協の対応について
一般社団法人日本海上起重技術協会 専務理事 野澤 良一

11 会員寄稿「会員の広場」九州支部

九州支部の皆さまに謹んで贈るお話

株式会社近藤海事 代表 近藤 観司

14 会員作業船紹介[㊟] 関東支部

400 t 吊起伏式起重機船「M-58」

錦海運建設株式会社

17 海の匠「登録海上起重基幹技能者の紹介」シリーズ[㊟] 近畿支部

株式会社 吉田組 小田 正博

18 マリーンニュース「事務局だより」

21 インフォメーション「お知らせコーナー・販売図書案内」

稚内港の変遷

一般社団法人日本海上起重技術協会 副会長 北海道支部長
藤建設株式会社 代表取締役会長

藤田 幸洋



稚内港の変遷

本年4月の支部総会で海技協北海道支部の支部長になりました藤田であります。前支部長でありました宮崎氏と比べ、大変浅学菲才であります

が、今後のご指導の程よろしく願いたします。

巻頭言の依頼を受けて題材を選ぶのに大変迷いましたが、わが街の港、稚内港について記したいと思ひます。



稚内港

稚内港の歴史

稚内港は1957年に重要港湾に指定された日本最北端の港です。港湾管理者は稚内市（北海道の港湾管理者は所在港の地方自治体）ですが、本年度で開港73年を迎えます。戦前はサハリン（旧樺太）との定期航路を持ち1923年には稚泊航路（旧国鉄、旧大泊（コルサコフ）間）、翌24年には稚斗航路（民間、旧本斗（ネベリスク）間）と2航路が開設され、当時は樺太に40万人が行き来し、大いに賑ったと聞いております。1935年には離島への利礼航路も開設しております。

戦後サハリン（旧樺太）との航路が廃止され、航路としては利礼航路のみとなりましたが、稚内港はオホーツク海と日本海、宗谷海峡に囲まれた好漁場を有していることから、戦後から沖合底曳船の漁業基地港として賑わいを見せておりました。しかし、1977年200カイリ規制問題で当時61隻の地元底曳船が徐々に減船され現在は6隻で操業されるのみとなっています。



北海道遺産「北防波堤ドーム」前に建つ稚泊航路記念碑

ロシア連邦サハリン州との関わり

稚内市は国境の街であります。国交のある場合は人的交流を含め多くの交流が生まれますが、相手は旧ソ連。サハリンの地は近くて遠い存在でありました。しかしながら、行政と民間とが小さな交流でも係りを持っていくことを希望していました。動きが大きくなったのは1990年のソ連崩壊でした。

稚内商工会議所では、94年からサハリン研修生受け入れ事業を開始して26年目になります。昨年はコロナ禍の事情で中止となりましたが、現在も続いています。この研修を受けたOBは100名を超え、ロシア人研修生による「稚内クラブ」、稚内では受入企業による「稚内サハリンクラブ」が設立されるなど、当地域とのロシア人脈の形成が続いています。

99年から戦後初めての日本船籍のフェリーによるサハリン航路が再開され、おりしも2003年から始まったサハリン州の石油ガス田開発（サハリンプロジェクト）と相まって稚内港が工事に使用する資機材の中継基地となり、多くの人や物が往来するようになりました。

残念ながらその航路も2015年に船舶会社が撤退、その後、地元で代理店の役割を担う運航会社を設立し、ロシア側の傭船による小型双胴船での運航を何とか3年間続けてきましたが、中止を余儀なくされています。現在は、稚内市が中心となり航路の在り方等の検討が進められています。

港を中核とした街づくり

稚内市は昔から港を中心として発展してきました。1991年に中心市街地の活性化と港湾空間の質を高め、市民や観光客との間の憩と潤いの接点として、「稚内マリンタウンプロジェクト計画」が策定され、その計画のもと94年には港湾文化交流施設



稚内港末広ふ頭岸壁に接岸する「飛鳥Ⅱ」

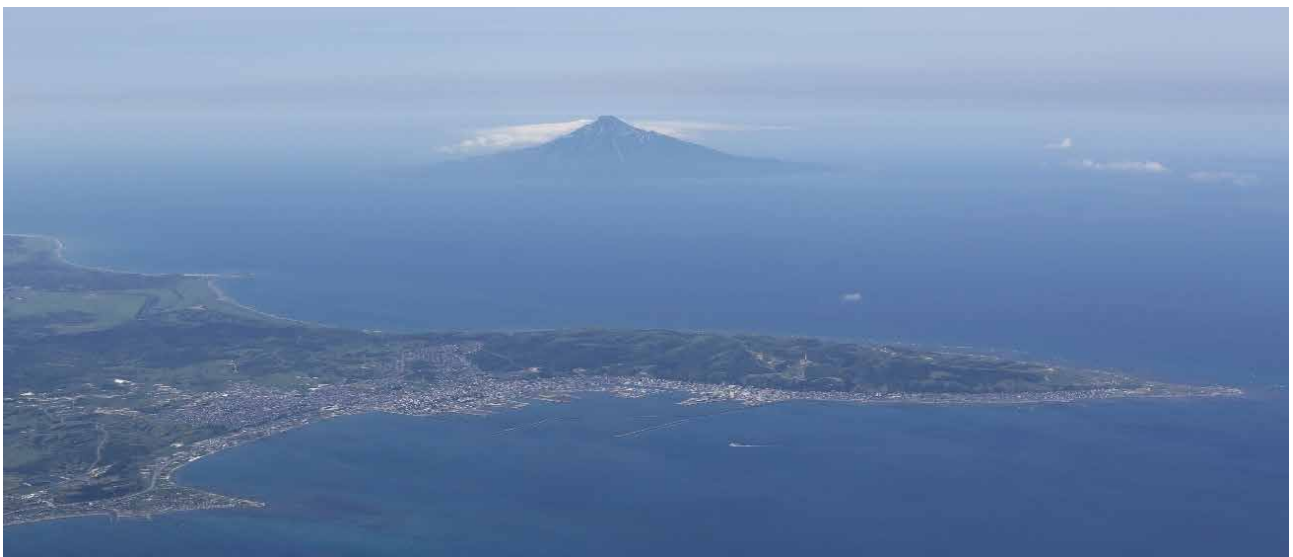
としてのホテル、港湾厚生施設としての温水プールが港湾区域に建設されました。2007年にはかつて沖合底曳船で賑わった副港地区に「副港市場」がオープン、08年には中央埠頭地区に国際・国内フェリーターミナルが完成と港湾地域を含めた再開発事業が行われました。

2012年には駅前再開発事業が完成。今までは鉄路で分断されていた街中と港湾区域が一体となり、市民がより港を感じられるようになりました。また、平成20年代から利尻島・礼文島も含めて2万ト

級のクルーズ船の寄港が多くなり、大型クルーズ船に対応した岸壁が18年に完成し、翌19年にはクルーズ船「飛鳥Ⅱ」等の寄港が実現し市民総出で歓迎を行いました。残念ながら昨年はコロナ禍の関係で、寄港が中止となり、今年も今のところ予定はないとのことです。コロナ禍が収まり多くのクルーズ船が寄港してくれることを期待します。

結びに

今、コロナ禍、不要不急の旅行はなかなかできないのが現状です。でも収まったら多くの方々に稚内、花の島利尻・礼文に來訪いただき冷涼な空気（6月10日執筆時点最高気温19度）、風光明媚な景色、新鮮な食材を堪能していただければ幸いです。



稚内市上空から利尻山を望む

第35回通常総会及び第94回理事会報告

一般社団法人日本海上起重技術協会は、去る6月4日(金)第35回通常総会を寄神建設株式会社内の会議室において開催しました。

今回の通常総会は、当初は5月14日(金)に東京都内にて役員を含め少人数にて行うことしていましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大、さらに変異株による感染拡大の懸念等に鑑み、役員も集まらないこととし、委任状にて対応することと致しました。

関連して、会長が上京することによる感染リスクを低減するため、開催場所を会長がおります寄神建設株式会社内の会議室に変更し、6月4日に寄神会長と本部事務局により行いました。

総会は、寄神会長が議長となり行われました。委任状は正会員215社中207社から提出され、事務局より各議案が報告されそれぞれに対する委任状の賛否を議長に報告し、全ての議案が原案どおり承認されました。

◆第35回通常総会

- | | |
|---------|--|
| 1. 開催日時 | 令和3年6月4日(金) 14:00～ |
| 2. 開催場所 | 寄神建設株式会社 会議室 |
| 3. 総会議案 | 報告事項① 令和2年度事業報告の件
第1号議案 令和2年度収支決算の件
報告事項② 令和3年度事業計画の件
報告事項③ 令和3年度収支予算の件
第2号議案 役員の任期満了に伴う改選の件 |

上記議案のうち報告事項①～報告事項③の内容につきましては、「海技協ホームページ」の「海技協とは」の中の「8. 事業報告等」に掲載しておりますので、ご覧ください。

また、第2号議案 役員の任期満了に伴う改選が行われました。総会の開催方法を変更しましたので、あらためて役員候補者を会員にお示して理事の選任を行いました。その結果、理事 梅田次男様、理事 近藤観司様、理事 田中理雄様、理事 宮崎英樹様、理事 与那嶺伸仲様が退任されるとともに、新たに理事 上野世志史様、理事 梅田宜嗣様、理事 名嘉康悟様、理事 西川晋司様、理事 濱谷美津男様が選任されました。その他の理事、監事は再任されました。



◆第94回理事会

例年どおり総会が行われますと、その場で臨時理事会を開催し、会長、副会長、専務理事を互選しますが、役員も集まらない形にしましたので、理事会を书面決議で行いました。

6月18日(金)までに理事の全員から書面より同意を得るとともに、監事の全員より異議を述べない旨の回答をいただき、各議案とも原案どおりに承認されました。

第1号議案 会長、副会長、専務理事選定の件

第2号議案 会員の入会に関する件

第1号議案は、会長に寄神茂之様、副会長に清原生一郎様、佐野茂樹様、本間達郎様、藤田幸洋様、専務理事に野澤良一が選任されました。

第2号議案は、博多港管理(株)、村上海事(株)、(株)小山、亮誠建設(株)、岡本土木(株)、(株)池間組、塩塚建設(株)の新たに7社の会員の入会が承認されました。

役員名簿(令和3年6月18日選任)

会 長		寄神 茂之	寄神建設(株)	取締役会長
副会長		清原 生一郎	関門港湾建設(株)	代表取締役社長
副会長	北海道支部長	藤田 幸洋	藤建設(株)	代表取締役会長
副会長	北陸支部長	本間 達郎	(株)本間組	代表取締役社長
副会長	中部支部長	佐野 茂樹	青木建設(株)	代表取締役社長
専務理事		野澤 良一	本部	
理 事	東北支部長	細川 英邦	(株)細川産業	代表取締役社長
理 事	関東支部長	烏海 慎吾	(株)古川組	代表取締役社長
理 事	近畿支部長	寄神 裕佑	寄神建設(株)	代表取締役専務
理 事	中国支部長	深山 隆一	山陽建設(株)	代表取締役社長
理 事	四国支部長	尾崎 憲祐	大旺新洋(株)	取締役会長
理 事	九州支部長	上野 世志史	(株)白海	代表取締役社長
理 事	沖縄支部長	名嘉 康悟	(株)屋部土建	代表取締役副社長
理 事		梅田 宜嗣	高砂建設(株)	代表取締役社長
理 事		金津 任紀	カナツ技建工業(株)	代表取締役社長
理 事		神原 正明	青木マリーン(株)	代表取締役社長
理 事		清水 重輝	(株)清水組	取締役会長
理 事		西川 晋司	(株)ソイルテクニカ	代表取締役社長
理 事		壺阪 博昭	(株)吉田組	代表取締役社長
理 事		濱谷 美津男	濱谷建設(株)	代表取締役社長
理 事		松浦 源至郎	松浦企業(株)	会長
理 事		増田 貴光	福丸建設(株)	代表取締役社長
理 事		山本 寿生	深田サルベージ建設(株)	代表取締役社長
理 事		渡邊 孝	(株)谷村建設	取締役副会長
監 事		黒子 政治	京浜港湾工事(株)	代表取締役社長
監 事		高橋 宏	三国屋建設(株)	代表取締役会長

注) 役員の役割毎の五十音順

■新役員紹介



理事
株白海
代表取締役社長
上野 世志史 氏



理事
高砂建設株
代表取締役社長
梅田 宜嗣 氏



理事
株屋部土建
代表取締役副社長
名嘉 康悟 氏



理事
株ソイルテクニカ
代表取締役社長
西川 晋司 氏



理事
濱谷建設株
代表取締役社長
濱谷 美津男 氏

◆協会長表彰

通常総会終了後に行われておりました、協会長表彰の授与式も中止されたため、感謝状、表彰状並びに副賞は、被表彰者の所属会社に送らせていただき、被表彰者には所属会社より渡していただきました。

●特別功労者（退任役員）

協会表彰規程第3条による協会発展特別功労者への感謝状贈呈者

氏 名	所 属 会 社	経 歴
宮崎 英樹	岩倉建設（株）	理事・副会長（H17～R2） 常任委員（H17～R2）
近藤 観司	近藤海事（株）	理事（H13～R2）
田中 理雄	（株）ソイルテクニカ	理事（H29～R2） 常任委員（H28～R2）
梅田 次男	高砂建設（株）	理事（H27～R2）
与那嶺 恵伸	（株）國場組	理事（H27～R2） 常任委員（H27～R2）

●特別功労者（専門委員会委員）

協会表彰規程第3条による協会発展特別功労者への感謝状贈呈者

氏 名	経 歴	備 考
石井 秀夫	常任委員会委員（H10～R2） 広報委員会委員（H6～R2）	
矢本 欽也	広報委員会委員長（H27～R2）	
上川 孝一	広報委員会委員（H23～R2） 事業委員会委員（H21～H26）	
井田 和夫	広報委員会委員（H25～R2）	
久高 将一郎	広報委員会委員（H26～R2）	
篠原 邦彦	技術認定委員会委員（H28～R2） 登録海上起重基幹技能者講習講師（H28～R2）	
木村 岩男	安全対策委員会委員（H19～R2）	
能美 正幸	安全対策委員会委員（H25～R2）	

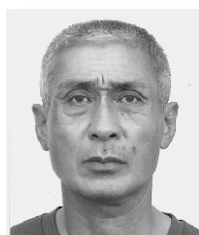
●会員会社の役職員表彰

協会表彰規程第5条による業務精励功労者への表彰状贈呈者

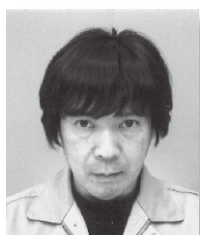
支 部	氏 名	所 属 会 社	職 名
北海道	平沼 雅俊	(株)菅原組	船団長
北海道	対馬 清	(株)南組	工事部船舶係長
関 東	鈴木 邦明	松浦企業(株)	次長
中 部	磯山 伸一	(株)小島組	常務取締役
中 部	梅原 克則	(株)橋本組	工務部部长
近 畿	窪田 幸次	寄神建設(株)	安全衛生環境部長
近 畿	竹谷 修	深田カバヅ建設(株)	船長
九 州	八丸 洋一	(株)植村組	土木部工事長
九 州	井上 竜一	(株)西海建設	船舶部部长
沖 縄	座波 博史	座波建設(株)	代表取締役



平沼 雅俊 氏
(株)菅原組



対馬 清 氏
(株)南組



鈴木 邦明 氏
松浦企業(株)



磯山 伸一 氏
(株)小島組



梅原 克則 氏
(株)橋本組



窪田 幸次 氏
寄神建設(株)



竹谷 修 氏
深田サルベージ建設(株)



八丸 洋一 氏
(株)植村組



井上 竜一 氏
(株)西海建設



座波 博史 氏
座波建設(株)

●協会の常勤役職員表彰

協会表彰規程第6条及び就業規則第37条による業務精励功労者への表彰状贈呈者

氏 名	経 歴	備 考
佐藤 義博	調査部長 H21.4.2～R2.6.30 調査役 R2.7.1～R2.7.31	

登録海上起重基幹技能者及び 海上起重作業管理技士講習・試験における 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策について

海技協では、標記の2つの資格について、講習及び認定・試験を実施しております。

本年は、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を実施のうえ開催します。具体的な内容は以下の通りです。

○講習会場における感染予防対策

講習会の開催に当たっては、感染拡大予防対策を採った上で行うこととします。主催者側でも、ソーシャルディスタンスを確保した会場使用（席の配置）や、講義に伴う飛沫拡散対策、消毒用アルコールの準備等を行います。受講者本人にも、以下に示すような対策を求めて参ります（受講者本人には書面でお知らせします）。

- ①マスクの着用（特に、講義中）
- ②手指の消毒の励行（洗面所での手洗い、消毒用アルコールの使用）
- ③待合室や食事中、喫煙室内での密集を避ける
- ④会場における受付時の検温の実施（具合の悪い方はお帰り頂く）
- ⑤受講中に具合が悪くなった場合の申し出

※④⑤で、受講ができなくなった方は、本人の責任ではありませんので、不利益にならないようにいたします。

○オンライン講習の実施

会場に来なくとも講習を受けることができる環境整備として、更新講習に「オンライン講習」を導入します。東京会場における更新講習を「録画」編集し10/2～11/30の期間配信します。視聴できる期間を十分確保いたします。

○受講者への事前対策（書面で通知）

受講者に対する体調管理、体調不良の者は無理して受講しない。できる限り直行・直帰を心がけるよう要請します。会場では、検温を実施し37.5度以上の発熱者は講習会場に入場させません。また、受講できない場合の措置を周知します。

<更新講習>

- ・オンライン講習への移行を推奨します。オンライン講習ができない者には、資料を送付して通信教育を行います。
- ※受講しないと資格の停止になるため、原則受講していただきます。

<新規講習>

- ・来年度の受講を推奨します。または、キャンセルを希望される方には、受講料の返金に応じます。

<参考：講習・試験の日程>

【海上起重作業管理技士】

東京会場	令和3年10月 8日（金）	飯田橋レインボービル
大阪会場	令和3年10月15日（金）	大阪科学技術センター

【登録海上起重基幹技能者】

東京会場	令和3年10月21日（木）～22日（金）	飯田橋レインボービル
福岡会場	令和3年10月28日（木）～29日（金）	福岡商工会議所

【更新講習（両資格とも）】

東京会場	令和3年 9月 3日（金）	飯田橋レインボービル
神戸会場	令和3年 9月10日（金）	兵庫県民会館
福岡会場	令和3年 9月22日（水）	福岡商工会議所
オンライン講習	令和3年10月 2日（月）～ 令和3年11月30日（金）	

建設技能者の能力評価制度： 海技協の対応について

一般社団法人 日本海上起重技術協会 専務理事 野澤 良一

(レベル判定システムの稼働休止)

会報4月号で、建設技能者の能力評価制度の活用をお願いしたところですが、仕組みが変わってしまいました。

本制度は、建設キャリアアップシステム（以下、「CCUS」という。）に登録した技能者の能力レベルに応じた評価・認定を行う仕組みです。今般、CCUSとのワンストップ化を目指す方針※が出され、レベル判定システムは、6月一杯で稼働が停止されました。

※CCUSとのワンストップ化方針について

例えば、登録海上起重基幹技能者は、CCUSのレベル4に該当しますが、レベル4のゴールドカードの交付を受けるためには、

- ①CCUSに技能者登録する（保有資格、講習受講歴の入力）
- ②レベル判定システムにログインして判定を受ける

の2つの手続きが必要であり、2つのシステムで2回も手続きを行う「二重負担感」が課題となっていました。

ワンストップ化により、CCUS登録・変更申請の中でレベルアップを申請可能にすることで、白カードを経ずにレベル2～4のカードが発行できるようになります。

国土交通省及び建設技能者能力評価制度推進協議会の会員は、CCUSとのワンストップ化を進める方針を打ち出しています。

(レベル判定システム休止中のレベル判定)

レベル判定システムが休止中なのにレベル判定を行う、ってどういうこと？と思われた方もいらっしゃると思います。レベル判定システムというのは、国土交通省が開発し・保有しているコンピューターシステムです。稼働休止するのは、このコンピューターシステムです。レベル判定は協会が行うことといたします。

(海技協の対応)

具体的には、申請者から書類をいただき、その内容を確認してレベルを認定し、色カード（レベル2～4）の発行までを行う予定です。本稿を作成している6月29日現在で、まだ決まっていないこともあり具体的な申請方法を示せていませんが、会報が発行される時点では受付が行われていると思いますので、申請をよろしく願います。

※順次、協会HPに掲載していきます

(最後に)

CCUSは、国土交通省が、技能者一人一人の技能と経験を業界横断的に蓄積し、適切な能力評価と処遇改善、現場管理の効率化結びつける「業界共通の制度インフラ」と位置づけております。建設技能労働者の処遇改善策は技能レベルを活用して展開されることとなります。

白カードではもったいない。

CCUSへの登録に合わせ、レベル判定への申請も願います。

レベル判定の利便性向上に向けた対応

- CCUS登録技能者のレベル判定手続のCCUSへのワンストップ化を目指します。
- 当分の間、各能力評価実施団体による判定受付に運用を変更する方向とし、システムによる判定受付は6月16日に停止します。

1. CCUSにおけるレベル判定受付・カード発行によるワンストップ化

- CCUS登録技能者の技能(保有資格・講習受講記録等)と経験(就業履歴等)に基づいて行われるレベル判定は、CCUSと別システムである「レベル判定システム」の運用によってR2.4に開始。二つのシステムで申請手続が生じる二重負担感が課題に。
- CCUS登録・変更申請の中でレベルアップを申請可能にすることで白カードを経ずにレベル2～4のカード発行を可能に。 ⇒レベル判定とCCUSの手続きワンストップ化により二重負担感を解消
- ワンストップ化に向けて、申請～料金支払い～カード発行までの手続きの具体的内容等について今後検討。

2. 当分の間、各能力評価実施団体による判定受付に運用変更の方向

- ワンストップ化に向けた検討・準備を進めるため、システムにより行われているレベル判定の運用を変更。各能力評価実施団体による判定受付を実施する方向で検討、団体の意向等も踏まえつつ可能な範囲で順次実施。
- システムによる判定受付は、6月16日に停止。
- 上記により、引き続き能力評価基準に基づくレベル判定は継続。

レベル判定の利便性向上に向けた海技協の対応

【レベル判定システムを巡る方針】

- ①CCUS登録技能者のレベル判定手続きは、CCUSへのワンストップ化を目指します。
- ②当分の間、各能力評価実施団体による判定受付に運用を変更、6/16にシステム停止します
 - レベル判定システムは、国土交通省が保有するコンピューターシステムですが、CCUSへのワンストップ化を目指し、一旦停止になります。
 - レベル判定システムが停止しても、レベル判定は行います。それぞれの技能分野ごとに能力評価基準が決められており、技能者の就業日数、保有資格、職長としての就業日数からレベル判定ができます。
 - 建設技能者のレベル判定は、各能力評価実施団体が行うこととなります。
 - 海技協は能力評価実施団体です、海上起重技能者のレベル判定を行います



【海技協のレベル判定(案)】

※建設技能者全体のレベル判定と整合を取るべき部分はありますが、以下のように考えています。

- ①申請者のCCUS登録情報と能力評価基準の照合審査(レベル判定業務)
 - ・CCUSの登録情報を参照し、保有資格・就業年数がレベルを満たしているかを審査します
 - ・保有資格・就業年数を証する資料を提出していただきます(提出資料については、協会HP等に示します)
 - ・書類の郵送、又は、メールによる送信で提出していただく予定です
- ②レベル判定結果の通知
 - ・色カード発行までの間、レベルを満たしていることの証明書として使える書類を発行します。
- ③判定手数料
 - ・手数料 4,000円(税込) (協議会が徴収)
 - ※すぐには色カードは発行されませんが、手数料で色カードの発行まで行いたいと思います。
キャリアアップカードの更新手数料: 1,000円(税込)を含んだ金額です。
- ④実施時期
 - ・令和3年8月から実施することを目指します

九州支部の皆さまに謹んで贈るお話

株式会社近藤海事 代表 近藤 観司

その先生が五年生の担任になった時、
一人、服装が不潔でだらしく、
どうしても好きになれない少年がいた。

中間記録に先生は、少年の悪いところばかりを
記入するようになっていた。

ある時、少年の一年生からの記録が目に残った。
「朗らかで、友達が好きで、人にも親切。
勉強もよくでき、将来が楽しみ」とある。

間違いだ。他の子の記録に違いない。

先生はそう思った。

二年生になると
「母親が病気で世話をしなければならず、
時々遅刻する」と書かれていた。

三年生では
「母親の病気が悪くなり、疲れていて、
教室で居眠りする」

三年生の後半の記録には、「母親が死亡。
希望を失い、悲しんでいる」とあり、
四年生になると

「父は生きる意欲を失い、アルコール依存症となり、
子どもに暴力をふるう」

先生の胸に激しい痛みが走った。

だめと決めつけていた子が突然、深い悲しみを
生き抜いている生身の人間として
自分の前に立ち現れてきたのだ。
先生にとって目を開かれた瞬間であった。

放課後、先生は少年に声をかけた。

「先生は夕方まで教室で仕事をするから、
あなたも勉強していかない？
わからないところは教えてあげるから」

少年は初めて笑顔を見せた。

それから毎日、少年は教室の自分の机で予習
復習を熱心に続けた。

授業で少年が初めて手をあげた時、
先生に大きな喜びがわき起こった。
少年は自信を持ち始めていた。

クリスマスの午後だった。
少年が小さな包みを先生の胸に押しつけてきた。
あとで開けて見ると、香水の瓶だった。
亡くなったお母さんが使っていたものに違いない。

先生はその一滴をつけ、
夕暮れに少年の家を訪ねた。
雑然とした部屋で独り本を読んでいた少年は、
気がつくまで飛んできて、
先生の胸に顔を埋めて叫んだ。

「ああ、お母さんの匂い！
きょうはすてきなクリスマスだ」

六年生では先生は少年の担任ではなくなった。
卒業の時、
先生に少年から一枚のカードが届いた。

「先生は僕のお母さんのようです。
そして、いままで出会った中で一番すばらしい
先生でした」

それから六年。またカードが届いた。

「明日は高校の卒業式です。
僕は五年生で先生に担当してもらって、
とても幸せでした。おかげで奨学金をもらって
医学部に進学することができます」

十年を経て、またカードがきた。

そこには先生と出会えたことへの感謝と
父親に叩かれた体験があるから
患者の痛みがわかる医者になれると記され、
こう締めくくられていた。

「僕はよく五年生の時の先生を思い出します。
あのままだめになってしまう僕を救ってくださった
先生を、神様のように感じます。
大人になり、医者になった僕にとって
最高の先生は、五年生の時に担当してくださった
先生です」

そして一年。
届いたカードは結婚式の招待状だった。

「母の席に座ってください」

と一行、書き添えられていた。

取り留めの無い二人の会話

私奴・・・「ワクチンはどうなっているのか、
ワクチン接種さえ進めば後は何とかなる。

この国の危機管理はいい・・・。

早く情報管理を確り整えて、補償にしても、
ワクチン接種にしても、的確にスムーズに出来
る様にしなければ・・・」

会話の相手・・・「そうそう、情報管理については
殆どジャブジャブなのに、この国は妙なところで
厳しくなるんです。

ICT技術を活かしながら浚渫をやっていて、ここを
もう一つ改良できないかと調べだすと、これから先は、
或る機関の承認を取るように・・・でストップ・・・
何ともです・・・」

(或る機関、決して三菱・・・ではありません)

九州支部の皆さま、

皆さまにご縁をいただき、少し？ピントのずれて
いること自覚しつつも足掛け20年、楽しく九州支部長
を務めさせて頂きました。

これも一方ならぬ皆さまの、ご支援ご厚情の賜物と
衷心より感謝申し上げます。

ありがとうございます。

皆さま、私の支部長最後の仕事として、
株式会社白海 上野世志史 社長へ
新支部長に就任をいただきました。

そうでした、前述の会話の話し相手は、
白海さんの石橋専務です。

上野社長は、このような研究熱心、且つ、
ポジティブな社員が育つ会社のトップであり、
地域の活性化にも確り支援をされています。

ちょっと気になる点があるとすれば、
人前でのご挨拶、ゴルフ、カラオケが、
私奴より数段格上なことぐらいでございます。

そして皆さま、長たる者、是非とも軽妙洒脱であって欲しいものです。

上野新支部長は、この面でも全く申し分ございません。

私は多少ピントのずれた支部長ではございましたが、後任を選ぶ最後の仕事だけは確りやれたと自負致しております。

上野支部長、九州支部、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

皆さまに贈らせていただきました「お話」、致知出版社「心に響く小さな5つの物語」から「縁を生かす」でした。とても良く効く心のビタミン・サプリメントでございます。

皆さま、本当に良きご縁をいただきました。おかげさまで、感謝、感謝でございます。ありがとうございました。



400 t 吊起伏式起重機船 『M-58』

錦海運建設株式会社

1. はじめに

当社は、海洋土木、港湾荷役、建設発生土処分を三本柱に、港湾関係に携わり、来年60周年を迎えます。

M-58は、ハマ（横浜）の港を基地港として、引き船万谷丸とともに、京浜港を中心に千葉港から横須賀港に至るまで、東京湾内の港湾工事（構造物の撤去、据付）、重量物荷役作業（プラント製品の浜出し、船積、水切り）など、幅広い事業において各社の要望に充分に応えることができる起重機船として、日々運航しております。



M-58 全景



万谷丸

2. 万谷丸（平成22年2月建造）

引き船万谷丸は、出力2000PSエンジンを1機搭載し、船首に揚錨用15t電動油圧式ウインチを設置して、揚錨船兼用の引き船となっており、作業エリアの狭い運河等の場所において、サイドスラスタ（1基）操作によりM-58の揚錨作業を的確に行っています。



万谷丸操舵室



万谷丸機関室

3. M-58の特徴

(1) クレーン能力

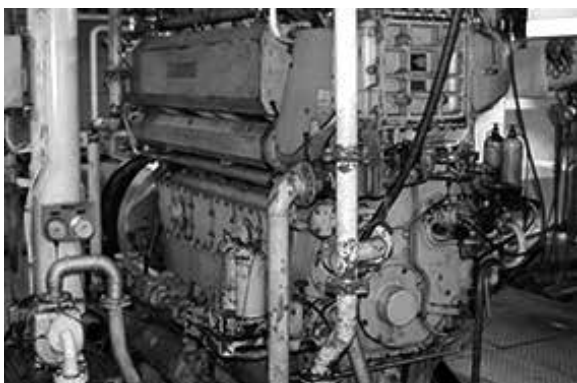
本船は、起伏式起重機船として、主巻(400t)、補巻(120t)、高巻(50t)と3ブロックを配置しており、重量や長尺物などの吊り荷に対し、揚程や作業半径を考慮してブロックを選択することによって、多種多様な作業に対応してその威力を発揮できます。



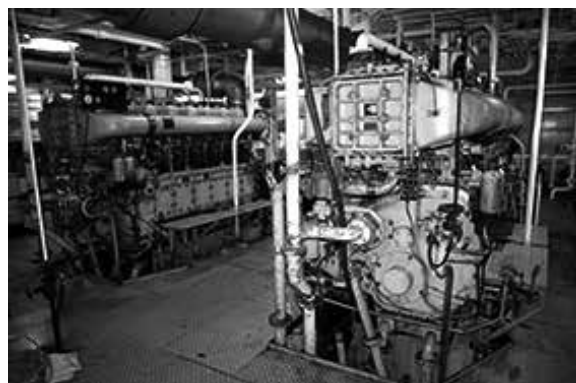
M-58 操船室-1



M-58 操船室-2



M-58 エンジン



M-58 機関室

(2) 機動性

東京湾内には、横浜ベイブリッジ等の大橋梁が多く、また羽田空港周辺海域には高さ制限エリアがあるため、その際の通過時の起伏作業を操船室で集中操作することによって、敏速にシヤース頂部の高さを管理しております。

また、重量物荷役作業に極めて重要な微量の動きに対応するために、甲板上には5台の操船ウインチを設置してあります。



甲板ウインチ配置



航空制限区域内

会員作業船紹介

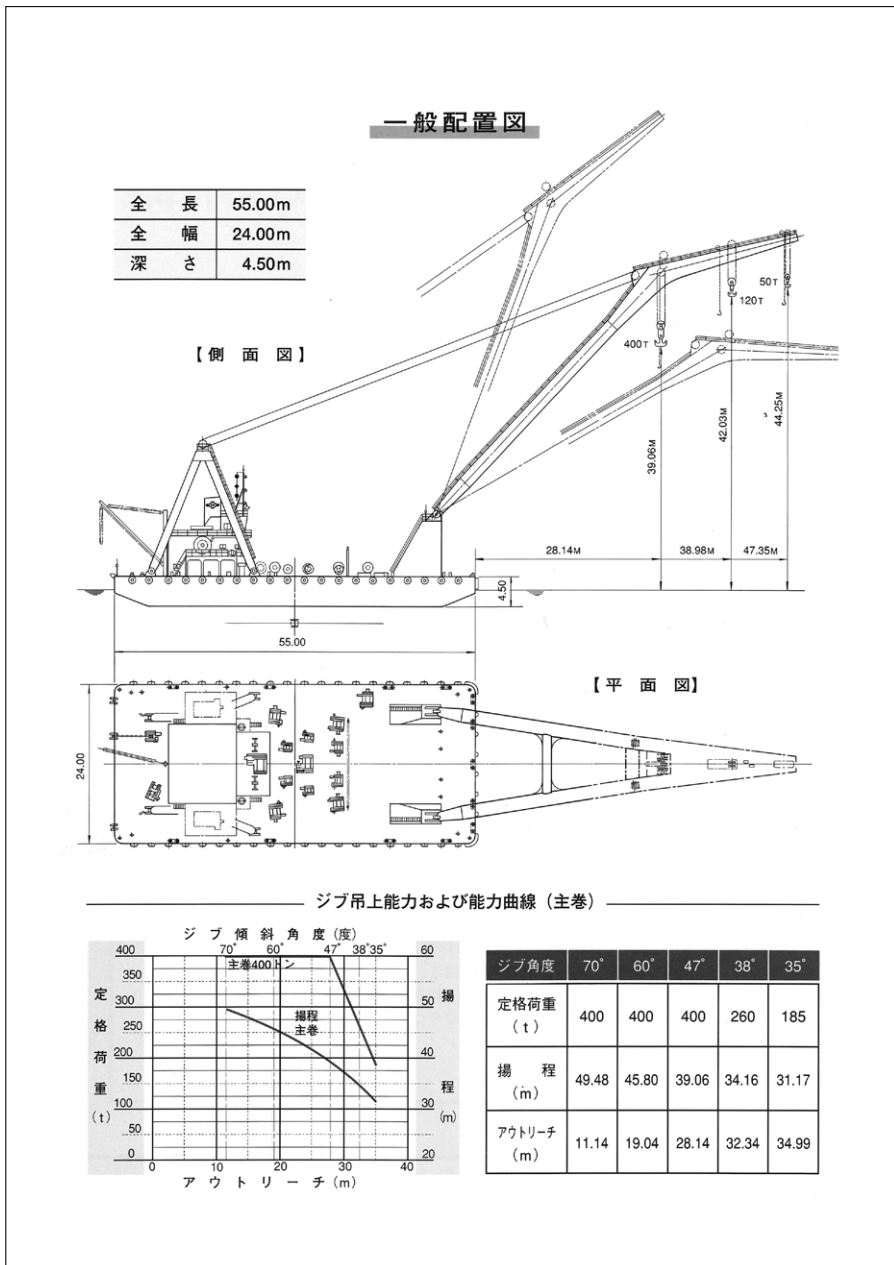


トランスファークレーン運搬



ジャケット据付

4. 主要諸元



5. おわりに

M-58は、東京湾内で長年にわたり日々活躍しています。

今後も皆様方のニーズにお応えし、卓越した技術力と安全性を高く評価していただけるよう努力して参ります。

近畿支部

株式会社 吉田組

小田 正 博



プロフィール

- 出身地 長崎県
- 生年月日 昭和 35年1月1日
- 職 責 起重機船 船長
- 船 団 起重機船 第50吉田号 3,700t吊
長さ110m 幅50m 深さ8.5m
揚錨船 新あわじ (30t吊)

●経歴(取得資格)

- 平成 2年 2月 入社
- 平成 4年12月 海上起重作業管理技士取得
- 平成20年11月 登録海上起重基幹技能者取得
- 平成27年 4月 第50吉田号船長
- 令和 2年 7月 国土交通大臣賞 表彰

●主要工事实績

- 東京国際空港D滑走路建設外工事
- 高知港三里防波堤築造工事
- 鹿島港外港地区南防波堤築造工事
- 常陸那珂港中央ふ頭岸壁築造工事
- 高知室津港室津地区防波堤築造工事

●今後について

大型起重機船の船長・船団長として、曳船、揚錨船、台船等の作業船団の総合指揮を行い、全国の主要港湾工事に従事し、運航管理や船員の統括業務に携わってきました。今後はその経験・技術を後輩に伝え、港湾建設業界の発展に携わっていききたいと思います。



マリーンニュース 事務局だより

本 部

◇第93回理事会

第93回理事会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、通常の開催形式ではなく、当協定会款第32条第2項により書面による決議に変更し行われました。

理事から議決権行使書を、また、監事から意見表明書をそれぞれいただき、各議案とも了承されました。

- 第1号議案 令和2年度事業報告の件
- 第2号議案 令和2年度収支決算の件
- 第3号議案 第35回通常総会開催について
- 第4号議案 役員任期満了に伴う改選の件
- 第5号議案 その他議案の件

- 1. 会員の入会に関する件
- 2. 協会長表彰候補者に関する件

支 部

◇北海道支部総会

第35回北海道支部通常総会が、令和3年4月23日(金)午後3時30分から、札幌グランドホテルで開催されました。

総会は、国土交通省北海道開発局港湾空港部魚住港湾空港部長様、海技協本部より寄神会長、野澤専務理事様の御臨席をいただき、会員42名の内39(委任状6名含む)が出席し、提案議案について原案通り承認されました。

総会次第

- 1 開会の辞
- 2 支部長挨拶
- 3 来賓御挨拶

国土交通省北海道開発局港湾空港部長

魚住 聡 様

(一社)日本海上起重技術協会会長

寄神 茂之 様



4 本部活動報告

(一社)日本海上起重技術協会専務理事

野澤 良一 様

5 議長選出

6 議案

第1号議案 令和2年度 事業報告について

第2号議案 令和2年度 収支決算について

第3号議案 令和3年度 事業計画(案)について

第4号議案 令和3年度

会費減額の臨時措置(案)について

第5号議案 令和3年度 収支予算(案)について

第6号議案 役員の任期満了に伴う改選について

宮崎支部長が退任し、新たな支部長に藤田副支部長、後任に吉本理事、理事2名が退任し新たに、勇建設(株)坂社長、岩倉建設(株)鈴木社長、機械開発北旺(株)数土社長の3名が理事に新任され、以外の副支部長2名、理事4名、監事2名は重任されました。

◇東北支部総会

令和3年度 第21回通常総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為「書面による議決」にて行いました。6月11日に下記議案が可決されました。

【1号議案】経過報告について

【2号議案】令和2年度収支決算報告及び
会計監査報告について

【3号議案】令和3年度事業計画(案)及び
予算(案)について

【4号議案】任期満了に伴う役員改選について(案)

◇関東支部総会

第26回関東支部総会を新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、書面総会での開催を了承いただき、令和3年5月14日(金)書面にて開催致しました。

会員18社のうち過半数以上の賛成をいただき、議案は

すべて原案通り承認されました。

総会次第

第1号議案 令和2年度 活動報告

第2号議案 令和2年度 収支決算報告及び
監査報告

第3号議案 令和3年度 事業計画(案)

第4号議案 令和3年度 収支予算(案)

第5号議案 その他

◇北陸支部総会

北陸支部では、令和3年6月23日(水)、支部所在地である(株)本間組内(新潟市中央区)において北陸支部総会を開催いたしました。コロナ禍での開催となったため、本会場には本間達郎支部長と渡邊孝副支部長の2名が出席し、ほか北陸支部会員17社とご来賓の寄神会長と本部野澤専務はテレビ会議(ZOOM)での参加となりました。

総会は、議長に選任された本間支部長が議事を進行し、事務局から令和2年度の事業報告と収支決算、令和3年度の事業計画と予算案について報告・説明が行われ、会員19社の表決により4議案ともに満場一致で承認されました。

総会後は、北陸地方整備局岸弘之次長から1時間のご講演「最近の港湾行政」をいただき、延べ59名の会員および関係者が聴講しました。

総会・講演会ともに、北陸支部にとってはじめてのテレビ会議ではありましたが、会員とともに1か月前から練習を繰り返したおかげでスムーズに進行させることができました。

練習は、会員が都合の良い時間に入室できるよう、幅広くZOOM予約を設定し、あわせてGoogleホームページから随時、開催日時を周知することで、多くの会員に参加していただくことができました。その際、業務多忙の中、北陸地方整備局港政課ご担当のほか、寄神会長や本部の野澤専務にもご協力いただいたことに対して感謝申し上げます。

来年は、コロナが収束し、通常の対面総会になることを願いつつ、令和3年度北陸支部総会の報告とさせていただきます。



◇四国支部総会(書面決議)

令和3年度四国支部の通常総会を、令和3年6月23日(水)に開催いたしました。今回の総会も、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、通常の会員を集めての開催ではなく、各議案に対する賛否を表示したの委任状を議長(支部長)宛徴収し、議長のみの参加形式で開催いたしました。

結果は、下記の各議案ともに原案どおり承認されました。

- 第一号議案 令和2年度事業報告及び
決算報告について
- 第二号議案 令和3年度事業計画(案)及び
収支予算(案)について
- 第三号議案 役員改選について

◇九州支部総会

第27回九州支部通常総会が4月19日(月)山口県下関市のシーモールパレスにおいて開催されました。総会では協会本部 寄神会長にご挨拶をいただき、野澤専務理事より本部報告をいただきました。

全国浚渫業協会 西日本支部との合同による“港湾講演会”を開催し、九州地方整備局 副局長 遠藤仁彦様に「港湾空港建設業界の健全な発展のために今できること」と題してご講演をいただきました。

1. 開催日: 令和3年4月19日(月) 16:20
2. 開催場所: 山口県下関市 シーモールパレス
3. 総会 出席者: 24社(委任状8社含む)

(次第)

- ・開会
- ・支部長あいさつ 支部長 近藤 観司
- ・来賓あいさつ 会長 寄神 茂 様
- ・総会議案

- (1) 令和2年度事業報告及び決算報告について
- (2) 令和3年度事業計画(案)及び
予算案(案)について
- (3) 支部長交代について
- (4) その他

- ・本部活動報告 専務理事 野澤 良一 様
- ・閉会

4. 港湾講演会 出席者: 32名

(全浚 西日本支部 合同)



●お知らせコーナー●

1

安全啓蒙ポスター 配布のお知らせ

毎年度「安全ポスター」を作成し、作業員一人一人の意識向上、啓蒙に役立つこと、及び海上起重作業船団の更なる安全運航に寄与することを願うものであります。

会員への配布

「安全ポスター」は、会員には5部配布し、また発注関係官公庁にも配布しております。なお、部数に余裕がありますので、増配布を希望される会員は協会事務局へ申し出て下さい。



「安全ポスター」

2

(4月以降掲載分)

海技協ホームページ「会員専用ページ」の掲載事項

〔協会活動〕

- 本部活動報告(令和3年5月期)
- 令和3年度の港湾関係の施策・積算基準の改定について(令和3年5月)
令和3年度直轄事業の実施に向けた取り組み
令和3年度港湾工事積算基準の改定概要

3

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ

- 港湾空港建設事業の新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防ガイドライン(5月24日改訂版)
- 終電繰り上げ・減便等に関する協力のお願い(令和3年4月28日)

(注)会員専用ページは、随時更新していますのでご利用下さい。

「会員専用ページ」を開くためには「ユーザー名」と「パスワード」が必要です。当協会事務担当者にお尋ね下さい。

インフォメーション

海技協 販売図書案内

図書名	概要	体裁	発行年月	販売価格
作業船団の運航に伴う 環境保全対策マニュアル (改訂版) (国土交通省港湾局監修)	作業船団の運航に伴い自らが発生する排水等の環境阻害要因に対する対策を取りまとめたマニュアル 海洋汚染防止条約(マルポール条約)の付属書採択に伴う国内法の改正を反映 ・「港湾工事共通仕様書」に参考図書として記載	A4版 100ページ	平成30年4月	会員 2,200円(税込) 非会員 2,750円(税込) (送料別)
作業船団安全運航指針 (改訂版) (国土交通省港湾局監修)	作業船団の安全な運航に対する安全衛生管理、操船、係留時等の安全対策及び作業船による架空送電線事故防止対策を取りまとめた指針 労働安全衛生法等の改正を反映、船員労働安全衛生規則に規定されている経験又は技能を要する危険作業に関する事項を新たに記載 ・「港湾工事共通仕様書」に参考図書として記載	A5版 200ページ	令和2年6月	会員 2,200円(税込) 非会員 2,750円(税込) (送料別)

※購入は「図書名、部数、送付先、担当者、連絡先、請求書あて先」を記入した FAX 又はメールで、協会事務局へ申し込んで下さい。

FAX 番号 :03-5640-9309

E-mail:honbu@kaigikyo.jp

マリン・プロフェッショナル
海技協会報2021.7 VOL.140

禁無断転載

発行日 令和3年7月

発行所 一般社団法人日本海上起重技術協会
広報委員会

〒103-0002

東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8

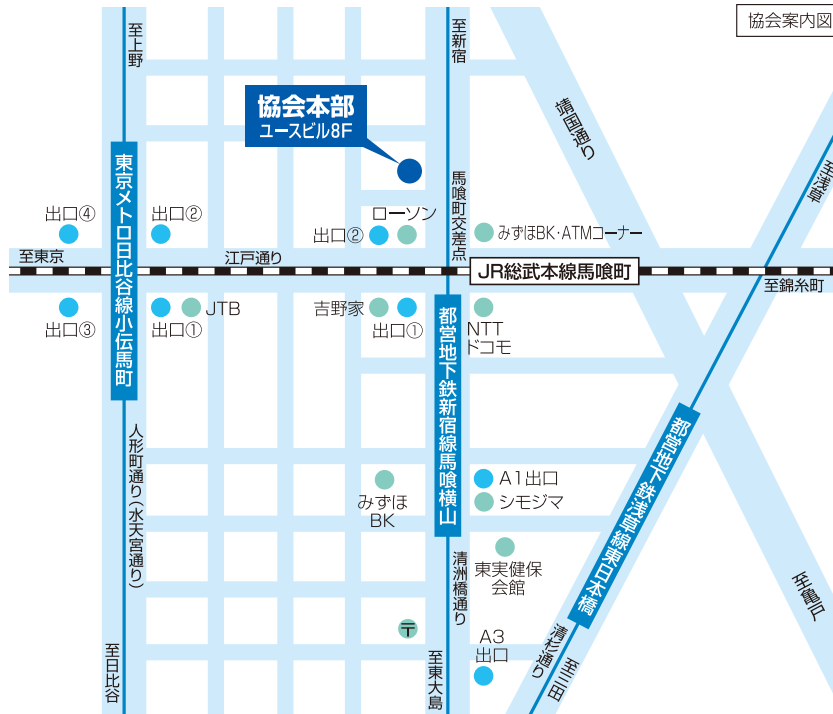
ユースビル8F

TEL 03-5640-2941

FAX 03-5640-9303

印刷 株式会社 TBSグロウディア

一般社団法人 **日本海上起重技術協会**



本部	〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-3-8 ユースビル8F TEL 03(5640)2941 FAX 03(5640)9303 URL http://www.kaigikyo.jp/ E-mail honbu@kaigikyo.jp
北海道支部	〒065-0019 札幌市東区北19条東7丁目2-10 藤建設(株)札幌支店内 TEL 011-721-9800
東北支部	〒030-0821 青森市勝田2-23-12 (株)細川産業内 TEL 017(723)1451
関東支部	〒104-0044 東京都中央区明石町13-1 (株)古川組内 TEL 03(3541)3601
北陸支部	〒951-8650 新潟市中央区西湊町通三ノ町3300-3 (株)本間組内 TEL 025(229)8473
中部支部	〒413-0011 熱海市田原本町9-1 青木建設(株)内 TEL 0557(82)4181
近畿支部	〒652-0831 神戸市兵庫区七宮町2-1-1 寄神建設(株)内 TEL 078(681)3126
中国支部	〒723-0016 三原市宮沖1-13-7 山陽建設(株)内 TEL 0848(62)2111
四国支部	〒781-0112 高知市仁井田1625-2 大旺新洋(株)内 TEL 088(847)2112
九州支部	〒808-0021 北九州市若松区響町3-1-33 (株)白海内 TEL 093-751-0350
沖縄支部	〒905-0014 名護市港2-6-5 (株)屋部土建 浦添本社内 TEL 098(879)7704